

東京JC2020 特別委員会

東京2020大会中に東京23区全域で国際交流拠点を市民や各国と展開するために、各国・地域団体との連携強化を図る事業、プレ事業をそれぞれ実施。

東京JC2020年の 行動計画策定に向けて

オリンピック・パラリンピック東京2020大会開催を最大限に活かし、東京23区全域で国際交流の拠点を市民とともに展開することを目標に、東京JCの2020年の行動計画を策定。そのために、必要となる各国・地域団体との連携および関係づくりや、プレ事業の実施を行っていきます。

国際交流の拠点では、自身の国のPRや文化紹介をしたい各国と、地域団体、大学生が協働して、その国を取り上げた事業を23区それぞれで実施することを目指しています。多くの市民が参加する国際交流の拠点を展開するため、各大使館などには、説明だけでなく実際に協働してPRする機会として、駒沢オリンピック公園を舞台とした「万国フェス2019」を4月に開催し、8000人の市民が訪れ、各国からも市民からも好評を博しました。さらに本年10月以降にはプレ事業を行い、2020年につなげていきます。

各国との関係構築や東京JCの行動計画について、都知事や東京都からも共感をいただきました。その結果、東京オリンピック競技大会主催の各国オ

リンピック委員会参加のイベントでも東京JCの行動計画をPRする機会を得られ、今後さらに、よりインパクトがあり、市民参加につながる事業を行うため、協力体制を築きながら事業を進めていきます。

事業レポート

計画事業への賛同者の獲得

2020年の東京JCの行動計画の設立と、その計画につなげるための各国・地域団体それぞれとの関係づくり、および各国と各団体の関係づくりの促進のため、大会期間中に23区全域で行う事業のモデル提示のための「万国フェス2019」を開催しました。

当日は、27カ国に及ぶ参加各国の文化や食事、ファッション、遊びが体験できるブースが40以上展開され、いずれの国のブースにも多数の市民が訪れました。また、ダンスやDJによる音楽の特設ステージ、大学生の協力によるスライムづくりブース、特設ボルドーリングなどのコンテンツが提供。家族連れも多く参加し、大盛況でした。

多くの市民が来場・参加する姿を示すことで、各国・各地域団体との関係を深め、東京JCの2020年の行

動計画への参加を促す効果を得ることができ、参加した大使館からは「これまでのどのイベントより多くの市民にPRできた」などの評価を得られました。いまだ東京JCと関係性がなかった国を含め、東京JCと一緒に行動しようという意欲を持つてもらえたほか、未参加の国に対しても訴求材料を作ることができました。



詳しくは
コチラ！

●万国フェス2019(4月例会)
開催 4/28 参加 8000名